



からしだねの由来 マタイ 13章 31節、マルコ 4章 30節、ルカ 13章 18節

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0025
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第412号

2022年11月27日より実施される ミサ式次第の変更箇所について(第2回)

フランシスコ・アシジ 谷口尚志

『新しい「ミサ式次第と第一～第四奉献文の変更箇所」カトリック中央協議会 p.15～

—開祭—

「祭壇に着くと、司祭は奉仕者(侍者)とともに手を合わせて深く礼をする。続いて、司祭は祭壇に近づき、両手で祭壇に触れながら深く礼をして祭壇に表敬する。」(p.15)

※欧米などには接吻をする習慣があります。それは“挨拶”や“表敬”などの意味があり、祭壇に対しても行うのですが、日本にはそのような習慣がないため、司祭は「祭壇に両手を触れて深く礼をする」となっています(日本の教会の適応)。よって、会衆に挨拶しているわけではないので、一緒に頭を下げないで下さい。内陣(祭壇が設置してある空間)に聖櫃(せいひつ)がある場合は、祭壇に表敬する前に手を合わせて深く礼をします。

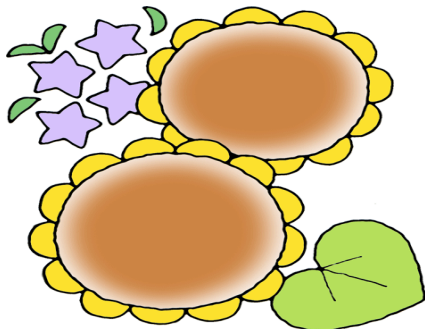
●司式司祭:「主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが皆さんとともに。」

会衆:「またあなたとともに。」(p.16)

※ラテン語規範版にある「あなたの霊とともに」という言葉をそのまま使うと、日本人にとっての霊魂のイメージと重なってしまうため、これまで「司祭とともに」と言っていました。しかし、司式するのは必ずしも「司祭」ではないため、「あなたとともに」へ変更されることになりました。

「短い沈黙の後、一同は手を合わせ頭を下げて、一般告白の式文を一緒に唱える。」(p.18)

※ラテン語規範版には「わたしは、思い、ことば、行い、怠りによって」を唱える時に胸を打つ動作をするようになっていますが、日本にはこのような動作で自分の罪を思い起こす習慣がないため、回心の祈りの最後まで手を合わせ、頭を下げて罪を悔やむ心を表すことになっています(日本の教会の適応)。



となりひと・・・・・・・・・・	2面
旅の話(7)・・・・・・・・・・	3面
幼稚園から・・・・・・・・・・	4面
教会学校・・・・・・・・・・	5面
委員会等報告・・・・・・・・・・	6・7面
図書委員より・・・・・・・・・・	7・8面
お知らせ・今月の聖人・・・・・・・・	8面

●司式司祭、会衆：「全能の神と兄弟姉妹の皆さんに告白します。・・・そして兄弟姉妹の皆さん、罪深いわたしのために神に祈ってください。」（※はじめの唱え出しは必要なので、これまで通り、司式司祭が「全能の神と・・・」を唱え出します。）（p.18）

※日本においては「兄弟」とともに「姉妹」という明確に意味の異なる言葉があるため、「兄弟姉妹」という言葉に変更されます。

「いつくしみの賛歌が続く。」（p.24）（※旧名称は「あわれみの賛歌」）

●会衆（先唱）：「主よ、いつくしみを。」会衆：「主よ、いつくしみをわたしたちに。」
会衆（先唱）：「キリスト、いつくしみを。」会衆：「キリスト、いつくしみをわたしたちに。」
会衆（先唱）：「主よ、いつくしみを。」会衆：「主よ、いつくしみをわたしたちに。」

※“いつくしみ深い主をほめたたえる”という特徴を持つ賛歌のため、「あわれみ」から「いつくしみ」に変更され、その「いつくしみ」が「わたしたち」に向けられることを嘆願していることを強調するため、会衆の応答部分「わたしたち」が加えられました。歌唱する場合には、従来の旋律、言葉に基づく『典礼聖歌集』を使用することができます。ただし、改訂版の『典礼聖歌集』が発表された場合、そちらを使用することになるはずですが。

次号に続く

となりひと

今回は、いつもカメラを持ってステキな画像や、動画を撮ってくださる Nguyen Loc ロックさんに SNS メッセンジャーにて 4 つの質問をしました。以下返信内容をご紹介します。

○日本に来てから、3年3か月経過しました。

○水巻吉田工業団地にある協同機械産業という会社で、半自動溶接の技術を研修しています。

○会社の近くに住んでいます。

○困ったことはありませんか？

会社の同僚から寺院に行こうと誘われて、標準のエチケットが分からずに困ってしまいましたが、彼の宗教と日本の文化を理解できました



ロックさんの Facebook には、7月7日の彼の誕生日に会社の上司や同僚から祝福されている画像がアップされています。整えられた環境で誠実にお仕事をされているロックさん。皆さんに信頼されてこれからも多くの技術と日本文化を学び楽しんでください。

・写真は本人が日本に来て一度は着てみたいという夢が叶ったお気に入りの復活祭の日の晴れ姿です！□

旅の話 (7)

岩本光弘

ミャンマーの奥地へ入ったとき、最奥の集落の中に泊まることになりました。10戸くらいの集落で、ここにキャンプを張ったのですが、夕食前にゆっくりしていると突然歌声が聞こえてきました。なんだと思い声がする方に行ってみると集落のはずれの小さな小屋に十数名の人が集まり歌っていました。日曜日の礼拝があっていたのです。これにはびっくりしました。最奥の集落にまでキリスト教が伝わっているとは思ってもよらないことでした。

その後下山してヤンゴンまで戻りました。市内観光に行くと、市内中心の大きな広場の横に大きなキリスト教会がありました。ガイドに聞くとこの教会はバプテスト教会でした。その近くにはカトリックの大きな聖堂もありました。

ミャンマーの民主化紛争で各地の集落が軍に爆撃されているという報道があります。私たちはこの国は全土が仏教だと思っていましたが、国の東側や西側の少数民族地帯には多くのキリスト教会があり、今回の紛争でたくさんの教会が政府軍に爆撃されたことがカトリック新聞やテレビ報道でも報告されています。ヤンゴンには枢機卿もいらっしゃいます。

5月のカトリック新聞には、中部の都市マンダレーの大聖堂が被害を受けたと報道されていました。マンダレーは日本で言えば京都のような昔の都で、広大な宮殿跡や由緒のある寺院が多数ありこの街に二泊したのですが、キリスト教会があるとは思えませんでしたので、カトリック新聞の記事には驚きました。

ミャンマーの紛争が始まったころ、ミャンマーの枢機卿が平和のための声明を出されました。これは日本のカトリック中央協議会のホームページから字幕入りで報道されました。現実には平和が脅かされていることを心配されていることが枢機卿様の言葉から切実に伝わり、感銘したのを覚えていて、それ以後も心配して報道を見てきました。

香港の民主化問題について私たちは他国の政治問題と思っているかもしれませんが、この問題が激しくなり始めたころ、友人の毎日新聞の記者で北京支局に行っていた河津君に北京のホテルで会いました。その時前日まで香港に取材に行っていた話を聞きました。そのころ彼は中国におけるキリスト教への迫害について取材していました。前日に香港へ行ったのは香港の枢機卿に民主化運動についてのインタビューのためでした。香港のカトリック教会では一人の枢機卿が民主化運動に賛成でもう一人は黙っているということでした。

河津君から「岩本さんと知り合ったおかげでキリスト教についての関心が高まりましたよ」と言われて内心ニヤリとしたことを思い出します。後日、この取材結果の「中国のキリスト教」の現状が新聞に連載され、後日まとめたものを北京から送ってくれました。この時に河津君が取材をした陳枢機卿は今年の5月中旬に当局に逮捕されましたが、3日目解放されたことが日本でも報道がありましたし、5月29日付のカトリック新聞にも掲載されていました。中国やミャンマーのような強権国家の中で信仰を守るのは難しいですね。



水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 8月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

〈水巻聖母幼稚園〉

先日は終園式を迎え、無事に1学期が終わりました。7月は夏祭りや年長さんのカレーパーティーがあり、楽しい行事が続きました。

幼稚園で育てた野菜でカレーを作りました。調理の過程で良い匂いが漂うと、何度も鍋を覗き、お友達と「まだかな～」と話す姿が微笑ましかったです。夏祭りでは甚平や浴衣を着て音頭を踊り、ゲームをして楽しみました。子どもたちはいつもとは違う幼稚園で楽しく過ごし、良い思い出になりました。

暑い日が続きますが、お身体に気をつけて、楽しい夏休みとなりますようにお祈りしています。



水巻聖母幼稚園 TEL : 093 201 9559

e-mail : coutactus@mizumakiseibo.ed.jp

〈マリア子どもの家〉



毎朝、畑や庭で元気に育っているスイカやナス、キュウリやトマト。ブルーベリーや柿などを見るのが楽しみです。最初に実をつけたスイカが、子どもの頭くらいの大きさになりました。受粉から40日目収穫日です。

また、今日は、蝉が飛んできてドングリの木に留まりました。「クマゼミ。」「羽が透けていますね。」「触れるかなー？」

畑や庭で遊んだ後は、お茶休憩です。「平均台に座りましょう。」「こっちからね。順番ですよ。」「お替りがいる人？」

暑い夏を、楽しく過ごしましょう！

TEL : 050 5212 7759

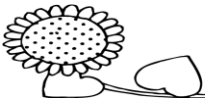
HP : マリア子どもの家

水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家

園長 水口 由美

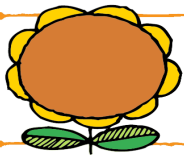
教職員 一同





教会学校の取り組み

7月24日の教会学校は、「こころの会」と一緒にビデオ鑑賞して勉強しました。この日のビデオはNHK=Eテレ北九州が放映した「こころの時代～宗教・人生」。内容は長崎・五島列島などのキリスト教関連施設が世界遺産に指定されたことにより、日本におけるキリスト教の歴史や長崎の教会などを紹介したもの。子どもたちの心には、どう残ったでしょうか。8月いっぱい、教会学校もお休みです。9月には教会学校の子どもたちの元気な顔を見たいものです。



Facebook を見ませんか。

Facebook に登録していなくても、見るだけでできます。下記の方法いずれかで、閲覧可能です。

- インターネットで「水巻カトリック教会」を検索する。
- 右のQRコードを読みとる。

※QRコードアプリがスマホ画面にない方は、取り込む方法を個別にご指導いたします。



委員会等報告

2022年7月分

7月度小教区委員会 7月10日

1. 行事予定

- ・8月 7日(日) 小教区委員会
17 時～子どもたちの練成会と青年たちとの交流会。
- ・8月 14日(日) 18 時～ベトナム語ミサ
- ・8月 15日(日) 聖母の被昇天ミサ
9 時 30 分から
- ・8月 28日(日) ミサ後
教会学校・こころの会

2. 議題

(1) 各委員会報告

①広報委員会

- ・Facebook について。QR コードを「からしだね」8月号に載せる。

②営繕委員会

- ・2 階の掲示板をリフォームした(磁石を使うタイプに変更し、ガラス面に遮光シートを貼っている)。

③冠婚葬祭の会

- ・手探り状態なので話し合う機会を持ちたい。

(2) 7月24日(日)より通常のみサの時間に戻すことについて

- ・コロナ禍ではあるが、2 部制を維持することによる教会活動への弊害が顕著となっているため、7月24日よりミサを9:30 からの一回に戻す。※当面、ミサ中の聖歌は答唱詩編とアレルヤ唱のみを歌う。17 日のミサ後のお知らせにて伝える。

(3) 敬老の祝い(9/18)のための名簿整理について

・2019 年度版に、今回地区委員にまとめてもらった名簿を加え、最新版として整理する。保管してある信徒籍名簿とも照合させる必要があるため、地区委員と主任司祭とで9 月度の小教区委員会までにまとめる(7 月いっぱい)。9 月度の小教区委員会で最新版の名簿を各地区委員に渡す。

- ・お祝いのための贈答品(クッキー)はレプトン会にて発注する。

(4) 7月31(日)の司教様公式訪問日について

- ・この日を機に「ふれあい会」を再開させる。「ふれあい会」で使用するコップ類は信徒会館のものを使う。

・「ふれあい会」は信徒会館のパーテーションを外して室内で行う。「ふれあい会」のあと、司教様と小教区委員と昼食会の場を設ける。

(5) その他

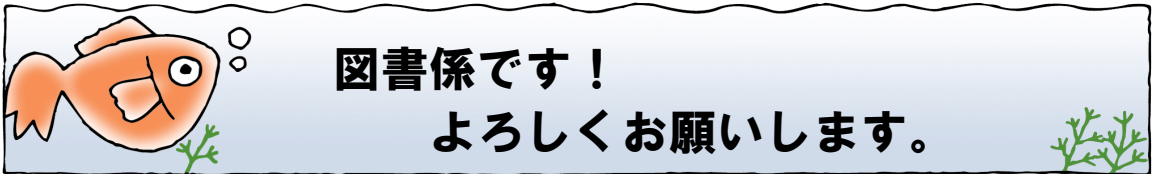
- ・ホームレス支援(抱機)について。10月14日(金)、弁当を作って本部に届けることになっている。

・Facebook について。広報委員会へのお願い。ミサが9 時半からの一回に戻ったら使用説明会を開いてもらう。その際、Facebook がホームページの代用として開設されていることを明確に伝える。

- ・今年の待降節から変更されるミサ式次第の文言について。お配りした物は解説つきとなっているために使い勝手が悪いが、式次第

だけが載るポケットサイズのものはいくつかの出版社から出されることになっているので、『ミサ典書』の発行に合わせ、教会と

して共用の物を購入する。その際、個人で購入を希望される方にも呼び掛ける。



図書係です！ よろしくお願いします。

2022年2月に図書管理・利用規定が作成され、3月には小教区委員会で承認されました。図書整理のために延べ100人の協力をいただきました、奮ってご利用ください。ご自身でお読みになった本の感想や、推薦したい本があればその書評を、広報委員会で随時受け付けています。ご意見や希望図書は、図書委員にお伝えいただくか、又は意見箱にお入れください。図書室での閲覧、貸し出し方法は従来通りです。皆様の豊かな信仰生活の一助になることを願います。図書委員

寄贈書籍の紹介

大西郷の悟りの道；「敬天愛人」とキリスト教

坂本陽明著

紹介者 三谷尚

この著者は、当水巻教会の黙想指導も頂いた、坂本陽明神父様です。黙想会の後には、私の様な者にも懇意にして頂き、当時赴任されていた鹿児島マリア山荘霊性センター（私は鹿児島版・黙想の家と呼んだ）まで押し掛けて一泊宿泊する等して、話を覗ったものです。その前後、師の中心的な著作である「ホリスティック医療」、その他、多くの師の著作は読んだのですが、別の特異な著作「大西郷の悟りへの道」だけは、ほとんど読む暇もなかったのです。それを水巻教会に寄付しようとしたところで、図書委員の豊永さんから、この本の薦めの言葉を書いて下さいと言われ、それを以て、この機会に真面目に読んだというのが真相です。しかし読み返してよかったと思います。

この著作では、まず「敬天愛人」の言葉が登場、これは江戸～明治初期の思想家、中村正直(まさなお)が、キリスト教の神髄はこの語句で表されると紹介したもの。これを指針として西郷は生きたのは確かであり、著書の冒頭では西郷はキリスト教信者であったのか等を探ります。西郷は聖書（中国語で書かれた）2冊を所持；西郷は聖書を薩摩藩重臣に教えた；ある人は西郷が次の様に語ったことを聞いた「私は宣教師から洗礼を受けたが、公的には言えず黙している」。私は、この著作において、これらが真実であることを立証するか、あるいは客観的には否定されるのかと思っていましたが、これらの情報はこれっきりで、それらの言い伝えが真実か、実は、後世に（騙すつもりはなかったが、善意の伝聞が重なって）伝承

として定着しただけなのかは、この軍配については著者は関心は有していない様です。それよりも敬天愛人という語句が語る世界観、これを特に中国の思想の1つ陽明学（世を改革してゆく思想）を通して見た見識、そしてキリスト教ならではの解釈を明かして行きます。一方、著書の後半部は、西郷の幾多の重要人物との出会いと関わり（薩摩藩主島津斉彬・島津久光、大久保利通、坂本竜馬）、および、歴史渦中での生き方（むろん、最大の事柄は、鹿児島私学校と西南戦争）を大掴みに捉えています。

西南戦争のエピソードを用いつつ、この章の締めくくりに、「西郷がキリシタンかどうか、信仰告白を伝えるものではありません。しかし、敬天愛人に生きたことは確かで、その点で、キリシタンとしての生き方をしたと言えるでしょう」と記述。最後に、西南戦争時、はるばる中津藩から薩摩軍に加わった、しかし西郷からは従軍を止め帰藩を薦められたが従軍を続けた増田は、西郷の元にとどまる理由を、「1日西郷先生に接すれば1日の愛あり、2日接すれば2日の愛あり、・・・ゆえに、我、西郷先生から離るる(はなれる)能わず」、と書いています。まさに常時にあっても、死を目前にした時でも、敬天愛人を貫いた西郷の姿と言えます。

8月のおしらせ

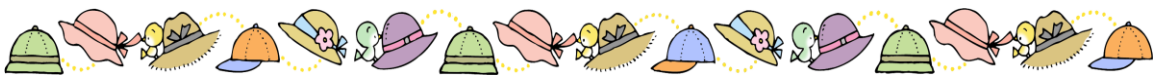
日 時：8月15日(月) 9時30分～

6月26日 聖ペトロ使徒座への献金

通常のミサと同様に、1回のミサです。

31, 146円

ご協力、ありがとうございました。



今月の聖人 3日

聖ニコデモ

1世紀ごろ

ニコデモは、イエスの時代に生き、ユダヤ人議会の議員、ファリサイ人の指導者でした。彼は、エルサレムでイエスを訪問し、神の国を見るときは何を意味するかを尋ね、イエスから「霊によって新しく生まれなければならないこと」を教えられました(ヨハネ3:1-10)。ニコデモは、すべてを捨ててまでイエスに従うことはしませんでした。イエスが逮捕されたときには、逮捕の不当を衆議会で訴えた唯一の人物でした。また彼は、アリマタヤのヨセフとともにイエスの遺体埋葬を手伝いました。